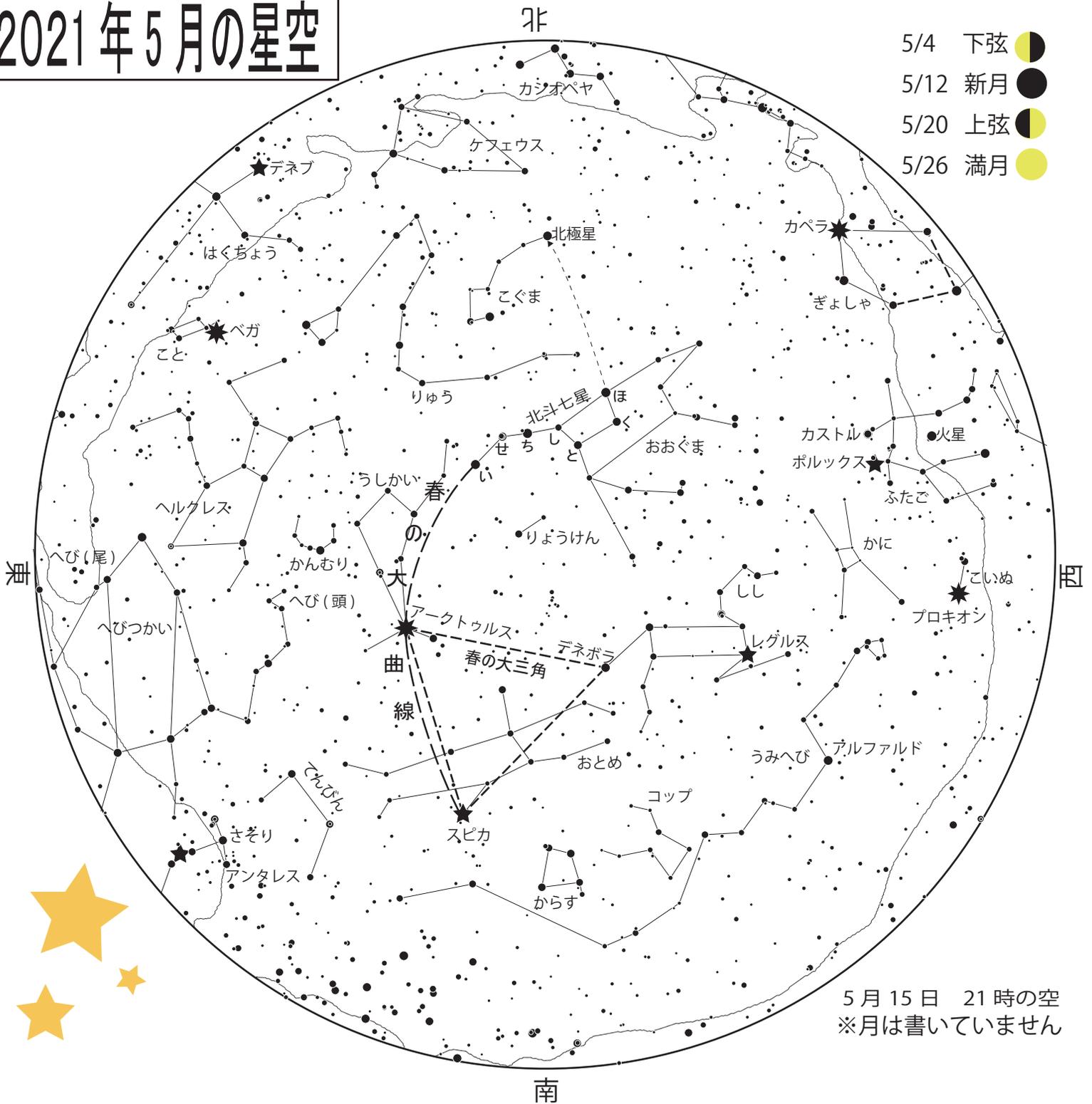


姫路で見る 2021年5月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 5/4 下弦 
- 5/12 新月 
- 5/20 上弦 
- 5/26 満月 



5月15日 21時の空
※月は書いていません

北の空高く、7つの星がひしゃくの形に並んだ北斗七星が見えます。北斗七星の器の先から順に「ほ・く・と・し・ち・せ・い」とたどると、春の星が確かめやすくなります。まず、「く」の星から「ほ」の星に線を引き、そのまま伸ばすと北極星が見つかります。また、北斗七星のひしゃくの柄にあたる「しちせい」のカーブをのぼしたものが「春の大曲線」です。春の大曲線は、うしかい座のアルクトゥルスを経ておとめ座のスピカに届くカーブです。アルクトゥルスは「熊の番人」という意味で、おおぐま座の熊の後ろを追って見張りをしていると考えると名づけられたようです。一方、スピカは「とがったもの」という意味で、農業の女神が手に持つ麦の穂先をイメージしてつけられた名前です。このアルクトゥルスとスピカ、そして、しし座の尾の星デネボラを線で結ぶと「春の大三角」になります。春の大三角は冬の大三角と同じく正三角形です。この機会にぜひさがしてみてください。

西の空には冬の星が残っていますが、東の空にはもう夏の星が見えはじめています。

火星は5月中旬から6月中旬にかけてふたご座を移動中です。カストル、ポルックスと見比べてみると面白いかもしれません。